



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7433 URL https://www.hakuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮下 環
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-8931
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	42,380	△5.4	1,734	△13.1	2,257	30.6	1,543	-
2024年3月期第1四半期	44,784	△19.7	1,996	△47.6	1,728	△56.4	6	△99.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,960百万円 (59.4%) 2024年3月期第1四半期 1,856百万円 (△50.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	82.08	-
2024年3月期第1四半期	0.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	141,269	66,287	46.9	3,523.86
2024年3月期	137,759	65,933	47.9	3,506.81

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 66,287百万円 2024年3月期 65,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	140.00	-	140.00	280.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	130.00	-	130.00	260.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	89,000	△4.5	3,000	△36.4	2,700	△38.3	1,900	△37.1	101.05
通期	190,000	4.4	7,500	△1.8	6,900	△0.2	4,900	△5.3	260.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	23,137,213株	2024年3月期	23,137,213株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,326,144株	2024年3月期	4,335,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	18,808,131株	2024年3月期1Q	18,701,756株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、主要国の企業収益の増加などによる高い株価水準や内需を下支える財政政策などにより、今年11月に控える米国大統領選挙の動向や中国経済の回復など不確定要素はありつつも、世界経済は緩やかな成長軌道を確認しております。

我が国の経済については、一部メーカーの自動車生産・出荷停止などにより24年1-3月期の実質GDPはマイナス成長に転じましたが、賃上げ率上昇による実質賃金の回復や6月の定額所得減税策などによる個人消費の持ち直し、更にはインバウンド需要の拡大や企業の設備投資の拡大傾向など、景気回復の期待感が続いております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、産業機器向けは需要低迷が継続しておりますが、生成AI関連は好調を維持しており、データセンター関連需要も回復に転じております。スマートフォン・PC・民生等は力強さに欠けるものの、今後PCの買い替えサイクルやAI機能搭載のPC・スマートフォン等の立ち上げによる需要増加も期待されております。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、車載関連は堅調を維持しておりますが、産業機器をはじめとする他の分野では顧客の在庫調整が続いており、対前年同期比で減収となりました。

電子・電気機器事業においては、PCB関連機器などが納期延伸により販売が減少し、対前年同期比で減収となりました。

工業薬品事業においては、主に中国の景気低迷による化粧品原料の販売回復に未だ時間を要しており、対前年同期比で減収となりました。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は423億80百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結売上総利益は63億4百万円（同3.3%減）となり、連結販売費及び一般管理費として45億70百万円（同1.1%増）を計上した結果、連結営業利益は17億34百万円（同13.1%減）、連結経常利益は22億57百万円（同30.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億43百万円（同22820.4%増）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は82円08銭となり、前年同四半期より81円72銭増加いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品事業では、車載関連用途のICが引き続き堅調に推移しましたが、産業機器分野では徐々に需要の回復が見込まれるものの主要顧客の在庫調整が続いておりました。またテレビ等の民生機器分野やPC・スマートフォンなど情報通信・モバイル分野におきましても需要の低迷が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高347億97百万円（前年同期比3.1%減）となりましたが、円安進行による為替影響等の要因により、セグメント利益は15億86百万円（同7.3%増）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、真空関連機器は半導体市場向けや分析市場向けをメインに堅調を維持し販売が増加しましたが、PCB関連機器は半導体パッケージ基板メーカーの設備投資抑制や装置納期延伸の影響により、販売が減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は46億70百万円（前年同期比18.0%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少等の要因により、セグメント利益は1億27百万円（同68.7%減）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品事業では、石油石化・紙・パルプ分野ともに国内販売は比較的堅調でしたが、海外向け製品の生産プラントは低稼働が続き販売が伸び悩みました。また化粧品原料販売においても化粧品需要は徐々に回復基調であるものの、顧客の在庫調整が続いております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は27億69百万円（前年同期比8.9%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少などにより、セグメント利益は45百万円（同75.5%減）となりました。

[その他の事業]

その他の事業では、当社の業務・物流管理全般の受託事業と太陽光発電事業を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は2億47百万円（前年同期比21.1%減）、セグメント利益は70百万円（同8.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して28億61百万円（2.4%）増加して1,237億15百万円となりました。これは主に商品及び製品が41億48百万円増加したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して6億48百万円（3.8%）増加し、175億54百万円となりました。これは主に保有株式の株価の上昇により、投資有価証券が6億6百万円増加したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して35億9百万円（2.5%）増加し、1,412億69百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して43億64百万円（7.4%）増加して630億70百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加に伴う運転資本の増加により短期借入金が29億75百万円増加したためであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して12億8百万円（9.2%）減少して119億11百万円となりました。これは主に長期借入金が10億80百万円減少したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して31億56百万円（4.4%）増加し、749億81百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して3億53百万円（0.5%）増加し、662億87百万円となりました。これは主に為替の変動により為替換算調整勘定が11億71百万円、保有株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が3億61百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは12億7百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは4億48百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは8億26百万円の支出となったため、現金及び現金同等物の換算差額4億97百万円の増加を合わせて、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して19億86百万円減少し、当第1四半期末は135億82百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益22億58百万円等の増加要因がありましたが、棚卸資産の増加額34億29百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは12億7百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には売上債権の減少額121億61百万円等により120億54百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出2億33百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは4億48百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出1億39百万円等により2億4百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、配当金の支払額26億33百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは8億26百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出（純）55億円等により、99億14百万円の支出となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績は、ほぼ想定通りに推移しておりますので、2024年4月30日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。
今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,568	13,582
受取手形、売掛金及び契約資産	38,101	38,853
電子記録債権	6,277	6,338
商品及び製品	54,863	59,012
仕掛品	35	41
原材料及び貯蔵品	1,250	1,101
その他	6,012	4,825
貸倒引当金	△1,254	△39
流動資産合計	120,853	123,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	921	902
機械及び装置（純額）	1,200	1,173
土地	3,053	3,053
その他（純額）	1,445	1,445
有形固定資産合計	6,621	6,575
無形固定資産	778	853
投資その他の資産		
投資有価証券	8,670	9,277
繰延税金資産	400	406
その他	457	465
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	9,505	10,125
固定資産合計	16,905	17,554
資産合計	137,759	141,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,348	21,696
電子記録債務	2,919	2,539
短期借入金	24,670	27,645
リース債務	350	293
未払法人税等	613	1,075
賞与引当金	2,567	1,011
役員賞与引当金	76	—
製品保証引当金	16	12
その他	6,144	8,797
流動負債合計	58,706	63,070
固定負債		
長期借入金	11,175	10,095
リース債務	288	310
繰延税金負債	1,363	1,226
役員退職慰労引当金	18	14
退職給付に係る負債	244	230
その他	29	34
固定負債合計	13,119	11,911
負債合計	71,825	74,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	5,863	5,867
利益剰余金	50,059	48,970
自己株式	△8,872	△8,850
株主資本合計	55,150	54,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,865	5,226
繰延ヘッジ損益	175	53
為替換算調整勘定	5,725	6,897
退職給付に係る調整累計額	17	22
その他の包括利益累計額合計	10,783	12,199
純資産合計	65,933	66,287
負債純資産合計	137,759	141,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	44,784	42,380
売上原価	38,266	36,075
売上総利益	6,517	6,304
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,278	1,312
賞与引当金繰入額	765	739
退職給付費用	108	112
その他	2,368	2,405
販売費及び一般管理費合計	4,520	4,570
営業利益	1,996	1,734
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	39	15
為替差益	—	442
持分法による投資利益	—	3
その他	56	114
営業外収益合計	101	585
営業外費用		
支払利息	49	59
売上債権売却損	14	1
為替差損	285	—
持分法による投資損失	15	—
その他	4	1
営業外費用合計	369	62
経常利益	1,728	2,257
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
貸倒引当金繰入額	1,165	—
特別損失合計	1,167	0
税金等調整前四半期純利益	560	2,258
法人税等	554	714
四半期純利益	6	1,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	1,543

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	6	1,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	472	362
繰延ヘッジ損益	137	△122
為替換算調整勘定	1,237	1,171
退職給付に係る調整額	2	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	1,849	1,416
四半期包括利益	1,856	2,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,856	2,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	560	2,258
減価償却費	229	291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,033	△1,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,175	△1,246
受取利息及び受取配当金	△44	△24
支払利息	49	59
持分法による投資損益 (△は益)	15	△3
固定資産除売却損益 (△は益)	1	△1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	12,161	△142
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,359	△3,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	912	△211
その他	2,886	3,430
小計	13,575	△602
利息及び配当金の受取額	60	40
利息の支払額	△49	△22
法人税等の支払額	△1,533	△623
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,054	△1,207
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△139	△233
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△61	△145
投資有価証券の取得による支出	△3	△65
その他	0	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	52,200	58,200
短期借入金の返済による支出	△57,700	△54,400
リース債務の返済による支出	△101	△110
長期借入金の返済による支出	△1,525	△1,905
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	45	22
配当金の支払額	△2,832	△2,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,914	△826
現金及び現金同等物に係る換算差額	413	497
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,349	△1,986
現金及び現金同等物の期首残高	16,751	15,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,100	13,582

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	35,908	5,697	3,040	313	44,959
セグメント利益	1,478	407	184	77	2,148

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	34,797	4,670	2,769	247	42,484
セグメント利益	1,586	127	45	70	1,830

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	44,959	42,484
セグメント間取引消去	△174	△104
四半期連結損益計算書の売上高	44,784	42,380

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	2,148	1,830
その他の調整額	△151	△95
四半期連結損益計算書の営業利益	1,996	1,734

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。